

NPO 法人 富士市のごみを考える会

平成19年度第4回定期総会

議案

日時 平成19年5月12日（土）9時半～

場所 フィランセ 4階大ホール



平成19年度 NPO 法人富士市のごみを考える会 総会次第

日時 平成19年5月12日(土) 9時半時より

会場 富士市社会福祉会館 ファランセ・4階大ホール

1. 開会

2. 理事長挨拶

3. 来賓祝辞・祝電披露

4. 議長選出

5. 書記・議事録署名人選任

6. 議事

- ① 第1号議案 平成18年度活動報告について
- ② 第2号議案 平成18年度決算報告及び監査報告について
- ③ 第3号議案 平成19年度事業計画(案)について
- ④ 第4号議案 平成19年度予算(案)について
- ⑤ 第5号議案 平成19年度役員選任(案)について

7. 閉会

*****休憩*****

10時半～

もったいない音楽会

- 1 ジャズ・ボサノバ
- 2 富士市の新しいごみ分別なんでも質問コーナー
- 3 ポップミュージック、他
- 4 生ごみ資源化、リユース食器の使い方、なんでも質問
- 5 ふるさと、千の風になって、みんなで歌おう

第1号議案

平成18年度事業報告について(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

I. 活動総括

平成18年度は、新しく試みまして好評をいただきました「もったいない音楽会」を2回開催いたしました。リユース食器貸し出し事業は軌道に乗り始め事業収入として活動が成り立つようになりました。福祉まつりにおいては、静岡県STOP温暖化キャンペーンで、準グランプリの名誉に輝きました。富士常葉大学の学生も参加しました。静岡県知事にもお会いし、会の活動もだんだんと認められるようになって来ました。環境教育におきましては、静岡県と県教育委員会発行の「静岡県環境学習おすすめ！プログラム」に掲載され、新たな発展が望めます。

II. 活動内容

① ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習

＜先進地域への見学・学習会、他団体との交流＞

日時	活動内容	会員	参加者	効果・評価
10月18日	富士宮生ごみの汚泥共用水素バイオガス発生試験装置見学	10	10	
12月6日	愛知県田原市 炭生館炭化プラント見学バスツアー主催	14	22	
3月13日	掛川市環境資源ギャラリー見学バスツアー	16	20	

② ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動

＜もったいない音楽会＞

5月13日	第3回総会。来賓：静岡助教授水谷洋一先生、フジスマートプラン進行管理の会代表、富士市消費連代表、総会后、もったいない音楽会開催	50	100	新聞記事ケーブルTV、テレビ朝日ニュースにて放映
9月3日	第2回もったいない音楽会主催	20	100	新聞記事

＜環境教育＞

6月22日	沼津市立片浜小学校4年生、総合学習授業 沼津市生活環境部ごみ対策推進課課長、静岡県環境森林部環境政策室担当者、沼津地球温暖化防止推進地域協議会3名参観	8	130	県委託事業
7月8日	青葉台小学校PTA「親と子のごみ減量講座」	8	100	県委託事業
7月より通年	丘小学校エコクラブの「生ごみ資源化に挑戦」のお手伝い	2	50	
11月9日	富士市立伝法小学校生ごみ資源化講座	6	150	
12月12日	富士市立伝法小学校生ごみ資源化講座(第2回目授業)	8	150	

＜講演会＞

6月11日	青葉台地区女性の会において当会講師講演会青葉台公民館「富士市のごみを考える会の活動とごみ問題」について	5	50	地区に回覧
6月13日	「静岡県環境再生医の会」(母体は、自然復元協会)の研究会で、当会の活動報告。	1	150	
2月3日	フジスマートプラン21進行管理市民の会主催で「フジスマートプラン21に赤信号」講演会開催(講師：当会時田理事)	10	60	新聞掲載、公民館広報
2月21日	富士常葉大学帆足養右教授の講演会「ごみ問題はなぜ滞るのか」を、富士市市民課、富士市消費連主催(当会担当)	10	60	富士ニュース、岳南朝日新聞掲載

＜STOP温暖化！キャンペーンで準グランプリ賞＞

2月25日	静岡県STOP温暖化！キャンペーンで、準グランプリ受賞	2	静岡県	NHKTVニュース3回放映、新聞3紙に掲載
3月18日	社会福祉協議会に「STOP温暖化キャンペーン」準グランプリ受賞を報告	2	4	富士ニュースに掲載
3月22日	富士市長に「STOP温暖化キャンペーン」準グランプリ受賞を報告。	10	5	静岡新聞、岳南朝日新聞に掲載

＜その他＞

8月29日	「静岡県知事との、のびのびトーク」	1	15	新聞記事3紙に
9月23日	第32回富士市生活展、パネル等展示	5	500	広報ふじ、他
11月5日	丘地区文化祭古着回収、ハートボックスと提携	2	3,000	
11月12日	富士市ごみ減量フェア参加	3	3,000	

＜会合参加＞

2月6日	静岡県バイオマスネットワークシンポジウムに参加	4	160	静岡県と環境再生医協会主催
2月17日	静岡市議会主催ごみセミナーに参加	1	100	
2月3日	小山町で、「富士山中心ぐるり街道」の市町村と国土交通省と静岡県山梨県主催第2回会合に参加	1	200	広報、他

③ ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動

＜食器デポジット、ごみ分別指導＞

日 時	活動内容	貸出 食器数	会員	参加者	効果・評価
4月16日	ひかりの丘まつり	1,122	4	500	富士ニュース、岳朝掲載
4月23日	広見地区サッカー大会	500			
6月4日	御殿場エコハウス	300			
7月16日	田子浦地区みなと祭り	240			
7月23日	ふじまつり	600	9	10,000	写真
7月30日	丘地区夏祭り	300			
8月5日	青葉台地区夏祭り	506	5	3,000	新聞記事
8月5日	新浜夏祭り	300	1	1,000	
8月19日	富士市役所職員祭	515	1	3,000	
9月2・3日	静岡県下田市観光協会ビッグシャワー	300	1	1,000	
10月15日	富士市市民福祉まつり、STOP温暖化活動に登録	1,590	30	30,000	SBSTVニュースで放映
10月19日	消費連	60	1		
10月22日	田子浦地区文化祭	300			
11月4日	広見地区文化祭	500	3	2,000	
11月12日	富士市消防祭(鷹岡消防団)	150	2	1,000	
11月18日	富士子ども劇場秋祭り	100	1	100	
11月19日	青葉台地区文化祭	1,434	2	3,000	
1月13日	広見地区マラソン大会	450	3	1,000	
2月18日	天間地区梅祭り	1,250			
3月11日	田子浦みなとマラソン大会	900	3	1,000	静岡第1テレビ「エコ生活の奨め」で放映
3月31日	富士市広見地区さくら祭り	1,480	4	10,000	新聞掲載、公民館広報
計 21回	合計	12,897			

＜審議会、プロジェクト等への参加＞

5月30日	富士市廃棄物減量化等審議会(第1回目)	3	35	富士市民全体に
7月25日	富士市廃棄物減量化等審議会(第2回目)	3	35	
5月20日	富士市廃棄物減量化等審議会(第3回目)	3	35	
10月10日	発生抑制対策循環資源再資源化促進検討部会(第1回目)	2	15	
10月24日	有料化イメージ部会(第1回目)	1		
12月12日	発生抑制対策循環資源再資源化促進検討部会(第2回目)	2	15	
12月19日	有料化イメージ部会(第2回目)	1		
2月15日	廃棄物等減量審議会最終委員会(最終回)	3	35	富士市の廃棄物行政
10月17日	浄化槽について、富士常葉大学にて、松田先生、環境省の廃棄物リサイクル室と当会のミーティング	5	10	
10月26日	環境省廃棄物リサイクル室浄化槽中央審議会に出席	1	50	日本全体、環境省 HP
2月27日	環境省単独浄化槽の使用状況等調査検討会理事長出席	1	15	
3月20日	環境省単独浄化槽の使用状況等調査検討会理事長出席(第2回)	1	15	

＜その他の実践活動＞

1月31日	富士市環境政策課エコネット会議	1	8	
2月9日	富士常葉大学の松田美夜子教授が退任されたことを受け、松田先生保有の廃棄物関連資料譲り受け	7	10	
2月14日	経済産業省容器リサイクル法ヒヤリング協力	8	2	日本全体
5月29日	静岡県環境宣言"HOPE"出発式参加	1	100	
6月28日	静岡県主催富士山麓ごみゼロ大作戦、参加	9	50	SBSTVニュースで放映新聞2紙に記事掲載
10月26日	静岡県主催第2回富士山麓ごみ減量大作戦	8	50	

＜生ごみ資源化＞

毎週金曜日	お年寄り家庭の生ごみ回収	1	10	
毎週水曜日	ごみを考える会畑作業	3	多数	

＜会として他団体への参加＞

静岡県地球温暖化防止活動推進センター、生活協同組合コープしずおか、富士市消費者運動連絡会、フジスマートプラン21進行管理市民の会、富士山ネットワーク、チームマイナス6%、我が家の環境大臣、静岡県バイオマスネットワーク、コミュニティシンクタンク、元気なごみ仲間の会、生ごみネットワーク他

平成18年度収支計算書報告

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位 円)

科 目	予 算 額	決算額	増 減 額	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	100,000	98,000	-2,000	18年度分
2. 事業収入	250,000	411,735	161,735	食器貸し出し料、パンフ・パネル 講師料、審議、STOP温暖化、HOPE
3. 補助金・助成金収入	200,000	171,400	-28,000	富士市、男女共同参画きらり交流、 コープしずおか
4. 寄付金収入	5,000	237,710	237,705	募金、個人寄付他
6. 雑収入	4,000	4,314	314	風呂敷、マイはし他販売
当年度収入合計 (A)	559,000	923,159	364,159	
前期繰越収支差額	232,451	232,451	0	
収入合計 (B)	791,451	1,155,610	364,159	
II 支出の部				
1. 事業費				
① 排出抑制、適正処理に関する 先進団体等見学	100,000	225,100	125,100	愛知県田原市炭生館、掛川市 環境資源ギャラリー、静岡市 沼上清掃工場
② 排出抑制、適正処理に関する 普及啓発活動	350,000	334,224	-15,776	もったいない音楽会Ⅰ、Ⅱ こみ風車ノエノー、ハイル作 成
③ 排出抑制、適正処理に関する 実践活動	100,000	80,996	-19,004	リユース食器貸し出し事業、他 畑関係、環境教育事業
<事業費合計>	550,000	640,320	90,320	
2. 管理費				
① 会議費	5,000	7,580	2,580	総会、音楽会打ち合わせ
② 旅費交通費	10,000	3,460	-6,540	NPO報告
③ 通信費	45,000	51,190	6,190	会報送料他
④ 器具備品費	5,000	0	-5,000	
⑤ 消耗品費	0	0	0	
⑥ 印刷費	25,000	14,103	-10,897	フィランセ印刷費
⑦ 支払手数料	1,000	420	-580	銀行振り込み手数料他
⑧ 交際費	5,000	0	-5,000	
⑨ 図書費	5,000	0	-5,000	
⑩ 事務費	20,000	3,544	-16,456	文房具代・用紙代他
⑪ 公租公課	4,000	0	-4,000	ボランティア保険料会員分
⑫ 雑費	5,000	16,214	11,214	地球温暖化防止センター、相 模連・男女共同参画年令費
⑬ 報酬	0	0	0	管理・事務、無償ボランティアのため
<管理費合計>	130,000	96,511	-33,489	
4. 予備費	0	0	0	
当年度支出合計 (C)	680,000	736,831	56,831	
当年度収支差額 (A) - (C)	232,451	186,328	307,328	
次年度繰越収支差額 (B) - (C)	111,451	418,779	307,328	
支出合計	791,451	1,155,610	364,159	

特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会
平成18年度財産目録

平成19年3月31日現在

科 目		金 額		
I 資産の部				
1	流動資産			
	現金 手元有高	7,100		
	普通預金			
	静岡銀行広見支店 NO:0400007	410,679		
	富士宮信用金庫本店 NO:1140904	1,000		
	流動資産合計		418,779	
2	固定資産			
	什器備品			
	自動食器洗い機 1式	280,441		
	固定資産合計		280,441	
資産合計				699,220
II 負債の部				
1	流動負債の部			
	流動負債合計		0	0
2	固定負債			
	固定負債合計		0	0
負債合計				0
III 正味財産の部				699,220
	正味財産			
負債および正味財産合計				699,220

計算書類注記

固定資產品目	購入額	減価償却 累計額 (定額法 2/6年)	当期末残高
自動食器洗い機	399945	119504	280441

計算式

購入金額 × (100% - 残存価値10%) × 定額償却率 = 減価償却1年分					
399,945	×	0.9	×	0.166	= 59,752

特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会
貸借対照表

平成19年3月31日現在

科 目		金 額		
I 資産の部				
	1 流動資産			
	現金 手元有高	7,100		
	普通預金	411,679		
	流動資産合計		418,779	
	2 固定資産			
	什器備品	280,441		
	固定資産合計		280,441	
資産合計				699,220
II 負債の部				
	1 流動負債の部			
	流動負債合計		0	0
	2 固定負債			
	固定負債合計		0	0
負債合計				0
III 正味財産の部				
正味財産				699,220
負債および正味財産合計				699,220

平成 18 年度収支決算を報告します

平成 19 年 4 月 4 日 理事長 小野 由美子 

会計 竹内 敏夫 

梅原 万奈 

平成 18 年度決算監査にあたり 調査の結果

正確かつ適正であることを報告します

平成 19 年 4 月 4 日 監事

大石 光男 

岡村 義久 

平成19年度事業計画(案)について
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

I. 活動方針

持続可能な資源循環型社会の形成を目指して、もっと広く市民に3R（リデュース・リユース・リサイクル）を普及啓発するため、今年度は、静岡県発行環境学習プログラムにも掲載されたように環境教育にも力を入れていく。リユース食器のさらなる普及を目指し、システムの改善を図っていく。当会紹介パンフレットを作成し会員拡大にも力を注ぐ。

II. 活動内容

① ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習	
＜先進地域への見学・学習会、他団体との交流＞	
適時実施	候補地：栃木県高根沢町 他
② ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動	
年2回実施	もったいない音楽会、講演会、シンポジウム
依頼時実施	学校環境教育事業
〃	ごみ分別指導
適時実施	ごみを考える会通信毎月発行、広報のための会報随時作成・発行
＊市の事業への参画・協力	
依頼時実施	生ごみコーディネーター事業「生ごみ資源化講座」「親と子のごみ減量講座」
〃	フジスマートネット編集に関与
〃	市のごみ減量フェア、消費連生活展参加
〃	ごみ減量キャンペーン参加・協力
〃	「ごみの出前講座」実施
③ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動	
随 時	各種審議会への参画、スマートプラン21推進のための援助、協力
年数回会主催	イベントにおけるリユース食器利用デモンストレーション実施
適時実施	リユース食器及び自動織機洗い機の貸し出し
〃	お年寄り家庭の資源化された生ごみを毎週回収し、土に返し、堆肥化する。
〃	生ごみを活かし、安心安全な野菜をつくろうプロジェクト
〃	単独浄化槽使用の会員と環境省浄化槽ネットワークに参加
＜会として他団体への参加＞	
	富士市消費者運動連絡会に理事派遣：縣、小野
	富士市男女共同参画センター利用団体委員会：小野
	フジスマートプラン進行管理市民の会：時田、宮野、縣、赤松、田中
＜他団体との協力＞	
	コミュニティーシンクタンク、元気なごみ仲間の会、生ごみリサイクル協会、富士山ネットワーク、有機農産物普及・堆肥化促進協会、自然復元協会、地球温暖化防止推進センター、生ごみコーディネーター連絡会、マイナsteam6% 我が家の環境大臣、静岡県バイオマスネットワーク

第4号議案

平成19年度予算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位 円)

科 目	前年度予算額	前年度決算額	今年度予算額	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	100,000	98,000	120,000	55×2000円、 10×1000円
2. 事業収入	250,000	411,735	400,000	学校教育、生ご み資源化講座、 食器貸し出し、 野菜販売、他
3. 補助金・助成金収入	200,000	171,400	200,000	富士市他 コープ
4. 寄付金収入	5,000	237,710	10,000	募金、個人寄付
6. 雑収入	4,000	4,314	4,000	
当年度収入合計(A)	559,000	923,159	734,000	
前期繰越収支差額	232,451	232,451	418,779	
収入合計(B)	791,451	1,155,610	1,152,779	
II 支出の部				
1. 事業費				
① 排出抑制、適正処理に関する 先進団体等見学	100,000	225,100	200,000	半額交通費負担
② 排出抑制、適正処理に関する 普及啓発活動	350,000	334,224	340,000	講演会、シンポ ジウム ごみ減量フェ スチバル
③ 排出抑制、適正処理に関する 実践活動	100,000	80,996	110,000	実践活動時昼 食、他 煙関係
<事業費合計>	550,000	640,320	650,000	
2. 管理費				
① 事務所	5,000	7,580	5,000	総会
② 旅費交通費	10,000	3,460	10,000	団体見学・NP O報告
③ 通信費	45,000	51,190	55,000	会報送料他
④ 器具備品費	5,000	0	3,000	拠点備品は持ち 寄りリユース品 で確保
⑤ 消耗品費	0	0	0	
⑥ 印刷費	25,000	14,103	20,000	印刷費
⑦ 支払手数料	1,000	420	1,000	銀行振り込み手 数料他
⑧ 交際費	5,000	0	5,000	
⑨ 図書費	5,000	0	5,000	
⑩ 事務費	20,000	3,544	10,000	文房具代・用紙 代他
⑪ 公租公課	4,000	0	4,000	ボランティア保 険料会員分
⑫ 雑費	5,000	16,214	10,000	
⑬ 人件費	0	0	0	無償ボランティア のため
<管理費合計>	130,000	96,511	128,000	
4. 予備費	0	0	0	
当年度支出合計(C)	680,000	736,831	778,000	
当年度収支差額(A)-(C)	-121,000	186,328	-44,000	
次年度繰越収支差額(B)-(C)	111,451	418,779	374,779	
支出合計	791,451	1,155,610	1,152,779	

各科目間の流用を認める。

平成19年度役員(案)

役員任期は、定款 16 条により、1 年とする。

役員報酬は、今年度は全員なしとする。

(あいうえお順 敬称略)

役 職 名	氏 名	住所または居所
理事	縣 昌司	富士市水戸島 343-1 サニハイツ 302 号室
理事	石川 美枝	富士市今泉 8-6-10
理事	梅原 万奈	富士市大淵 102-64
理事	小野 由美子	富士市大淵 27-6
理事	岸本 美和子	富士市今泉 3689-18
理事	竹内 敏夫	富士市石坂 381-11
理事	田中 富子	富士市今宮 620-27
理事	時田 祐佐	富士市中丸 794
理事	宮野 征男	富士市厚原 2281-4
監事	大石 光男	富士市本市場 442-9
監事	岡村 義久	富士市厚原 1903-2

静岡県環境学習おすすめ！ プログラム

静岡県・静岡県教育委員会

ごみ減量のキーワードは3つのR！

NPO法人 富士市のごみを考える会



○テーマ	廃棄物
○学習内容	家庭からの廃棄物
○教科等との関連	廃棄物の処理（社会）
○学習対象	小学校中学年
○場 所	体育館、教室など
○学習時数	3時間
○準備物	プロジェクター

学習の目標

- ◎環境をよくするために行われている様々な取組に関心をもつ。（関心）
- ◎ごみを減量することの大切さや3R（リデュース・リユース・リサイクル）について理解する。（思考・理解）
- ◎地球を守るために自分ができることを生活の中で実践する。（参加・行動）

プログラムの概要

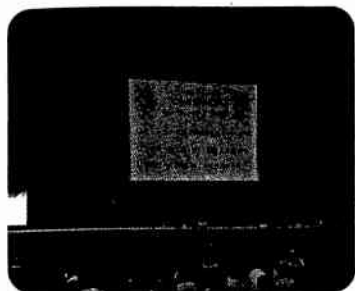
- ①全 体・・・紙芝居「富士山とごみと私」など。ごみゼロ博士おもしろクイズ（25分）
- ②グループ・・・ペットボトルリサイクル（20分）
生ごみリサイクル（20分）
ごみ分別ゲーム（22個のアイテムカードを4セット用意）（20分）
ごみ減量大作戦（20分）
- ③全 体・・・クールダウンタイム（気づいたことをノートに整理）、気づいたことの発表・質問・まとめ（30分）

団体活動PR

当会員は、現在65名。静岡県環境学習指導員をはじめ、クリーンジャパンセンター環境学習指導員、富士市ごみマイスター、静岡県地球温暖化防止活動推進委員、有機農法研究員、イラストレーター他、様々な分野の専門家がそろっています。

日常生活の中での“気づき”を大切に、楽しいプログラムを実践しています。

おすすめ！ プログラム



「紙芝居」（プロジェクターで、スクリーンに投影します。）

「富士山とごみと私」「沈黙の富士山」「リデュース・リユース・リサイクル」の3作品があります。ごみ減量の必要性、地球温暖化、「リデュース・リユース・リサイクル」を具体的に学習します。

「ごみゼロ博士おもしろクイズ」

クイズを通して、ごみ問題について学習します。



「ペットボトルリサイクル」

クリーンジャパンセンターの教材を使いながら、ペットボトルのリサイクル方法について学習します。

「生ごみリサイクル」

生ごみは微生物の働きによって植物を育てる栄養になること（食物連鎖）を学習します。



「ごみ分別ゲーム」

学校のある市（町）の分別方法に沿って、ごみのアイテムカードを分別ボックスに入れるゲームです。

「ごみ減量大作戦」

家庭生活の様々な場面を描いた絵を見ながら、地球環境を守るためにどのような生活をすればよいかを考えます。

このプログラムを学校で実践したいときは、下記までどうぞ。

〒417-0801 住所 富士市大淵27-6 担当 小野 由美子

TEL 0545-35-2439 FAX 0545-35-2439

メールアドレス fyono@ck.tnc.ne.jp

ホームページ <http://www006.upp.so-net.ne.jp/fujigomizero/>

発行：富士市大淵27-6 Tel・Fax 0545-35-2439 e-mail: fyono@ck.tnc.ne.jp
NPO 法人富士市のごみを考える会 理事長小野由美子